

コンプライアンス／リスクマネジメント

誠実かつ透明な企業経営とグループ社員のモラル向上に向けて、コンプライアンスの推進とリスクマネジメントの強化に努めます。

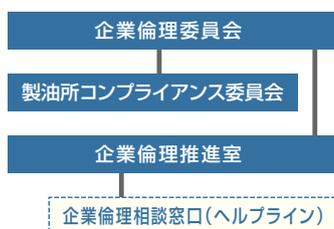
コンプライアンスの推進

企業倫理推進体制

コスモ石油グループでは、企業倫理に関する基本方針の決定、推進、実施および監視を行う機関として「企業倫理委員会(委員長：総務部担当役員)」を設置しています。

事故、法令違反の再発防止策の一環として、製油所におけるコンプライアンスの徹底を図るため、企業倫理委員会の下部組織として、各製油所に製油所コンプライアンス委員会(委員長：製油所長)を設置しています。

◆企業倫理体制図



また、企業倫理委員会の運営を補佐するため「コスモ石油グループ企業倫理推進室」を設置し、あわせて同推進室内に「コスモ石油グループ企業倫理相談窓口(ヘルプライン)」を開設しています。

製油所コンプライアンス委員会の開催

2006年度に設置した製油所コンプライアンス委員会は、2007年度は3ヵ月に1回の頻度で開催してきました。その結果、製油所の保安に関する対応が定着してきたことを踏まえ、2008年度以降については、原則として半年に1回の開催とし、必要なときはこれに加えて臨時に開催することとしています。さらに、各製油所において月次のフォロー会議を開催し、各製油所長が、個別の通報、工事対応を確認する機会を設定してモニタリングの強化を継続しています。

企業倫理相談窓口(ヘルプライン)の設置

社内外の方々がグループ内の業務などに関する法令や倫理上の問題を相談、通報できる窓口を設置しています。窓口は社内の企業倫理推進室内に加えて、外部専門家への相談窓口も設置し、相談者の不利益にならないよう匿名性を確保しています。2007年度は5件の相談を受け付け、早急に対応を行いました。また、人事部門内にはセクシュアルハラスメント・パワーハラスメントに関する相談窓口も設置しています。

詳細情報●情報管理

web <http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/management/is.html>

詳細情報●製品の信頼確保

web <http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/management/is.html>

企業倫理研修の実施

コスモ石油グループ社員を対象に、毎年、企業倫理研修を実施しています。人事階層別の研修に加え、部長・事業所長・グループ会社社長主催の研修も行っています。2007年度の研修では「コスモ石油グループ企業行動指針テキストブック」について改めて確認するなど、コンプライアンス意識の浸透を図りました。

詳細情報●企業倫理研修実績

web <http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/management/compliance.html#seminars>

リスクマネジメント体制

コスモ石油グループでは、2003年度から毎年、「リスクの洗い出し・整理・対策検討・実施・モニタリング評価」のサイクルを全社で実施しています。2005年7月にはリスクマネジメント委員会を設置し、「有事における対応の検討」を重点テーマとし、2006年度には災害対応の全社横断的な事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)を策定しました。

事業継続計画(BCP)

2008年4月に第2回目の首都直下型地震の想定被害シナリオに基づいたリアルタイムシミュレーション訓練を実施、帰宅訓練、緊急時受発注訓練、コスモコンピュータセンター危機管理訓練も行い、各部署の対応マニュアルの検証の機会としました。また、2008年度はBCPの推進として、総合訓練のレベルアップ、新型インフルエンザ対策、在宅勤務対応を重点テーマとしてリスク対策の策定を行っています。

MESSAGE

現場からトップまで、
製油所一丸となって安全を守る

千葉製油所 所長
瀧嶋 輝行



千葉製油所では、2006年にコンプライアンス委員会を発足させ、「コンプライアンスの定着」、「設備の信頼性の向上」、「コミュニケーションの充実」を重点に活動しています。委員会は当初、課長以上で構成しましたが、本社への単なる報告会に終わらせないため、2007年には係長以上全員参加とし、現場の安全管理、行政への申請などについて、検証と実践を繰り返して改善する仕組みをつくりました。規制緩和が進み、企業の責任が大きくなる中、法令遵守に留まらない、リスクマネジメントに積極的に取り組み、お客様や地域住民の方々の「ココロも満タンに」なるよう、さらに安全で安心な製油所になりたいと思っています。